館報 平野

発行所　平野地区公民館
☎ 8－2441
編　集　平野地区公民館
館長 青木自助
発行日　昭和58年3月31日

上手な話し方について学ぶ

来る二月二十六日、平野地区公民館において青年団との共催で地区内の青年を対象にYBCアナウンサーの古池常泰氏をお迎えして、「上手な話し方について」という題で約二時間にわたって学習を行ないました。（上写真）

特に、自己紹介の話し方
三分間スピーチでの話し方
電話での話し方
一対一で話す時の間のとり方
（先輩や異性について）
の内容を中心にそれぞれのコツやポイントを具体的な例を出していただき、わかりやすく話をしていただき、意識ある学習会でした。

もくじ

カメラレポート
　体育行事
　文化行事　2～6頁
テープ学習をしてみませんか　7頁
家庭の日運動について　7頁
特集　親の会研修会報告　8～9頁
新生活運動について　10頁

思いやり　ゆずる心で　防ぐ事故（運転者向け）

第7回平野地区少年卓球大会結果

11月23日平野小体育館にて

カメラレポート
10月～3月
（体育行事）

○ **団体戦**

第 1 位　大久保チーム
第 2 位　川　窪チーム
第 3 位　宮　地チーム

○ **小学生3・4・5年（男）**

第 1 位　大石貴史
第 2 位　深沢　勝
第 3 位　嶋貫　孝

○ **小学生6年（男）**

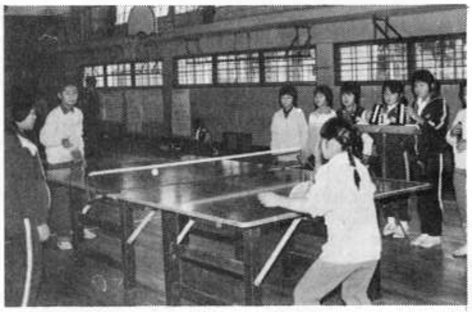
第 1 位　青木隆信
第 2 位　平井直之
第 3 位　青木秀樹

○ **小学生（男）**

第 1 位　大石辰彦
第 2 位　後藤　格
第 3 位　鈴木　武

○ **小学生（女）**

第 1 位　桑島民子
第 2 位　高坂知亜紀
第 3 位　島貫真理

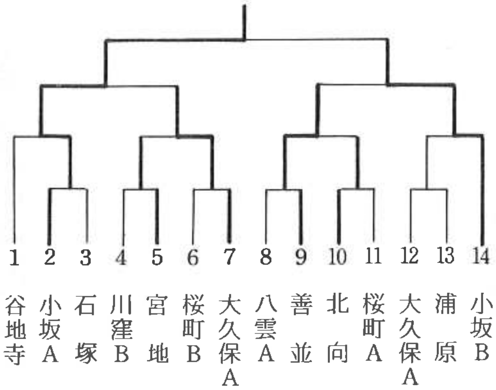


第7回平野地区分館対抗バレーボール大会結果

去る11月14日平野小学校体育館を主会場に18チーム２００人が参加して白熱した戦が行なわれました。

第 1 位　小坂 A
第 2 位　小坂 B
第 3 位　大久保 B
第 3 位　善　並

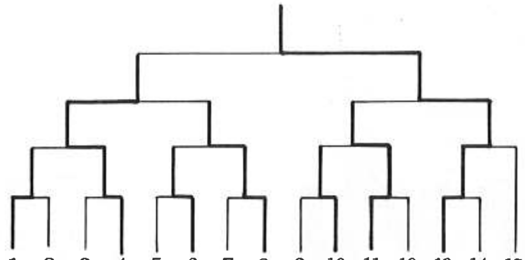
（決勝トーナメント）



第1回平野地区分館対抗卓球大会結果

去る1月30日午前8時30分より平野小学校体育館で15チーム220人が参加して盛大に行なわれました。

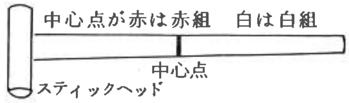
第　1　位　　川窪B
第　2　位　　川窪A
第　3　位　　館
第　3　位　　小　坂



ゲートボールって？・・・・

用　　具

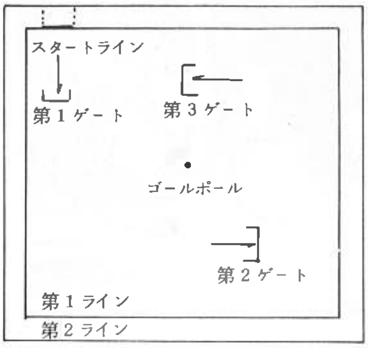
○スティック　赤組5本　白組5本　計10本



○ボール　　計10個
赤組は赤ボール5個（寄数）①③⑤⑦⑨
白組は白ボール5個（偶数）②④⑥⑧⑩

○ゲート　　計3本
第1ゲート　　第2ゲート　　第3ゲート

○ゴールボール　　1本



チーム構成

正選手5名（内1名は主将）、監督1名、補員2名の計8名が正式な1チームの構成人員ですが、補員はいなくとも良い。

また監督は選手が兼任できるので、5名でも良い。

競技時間

競技時間は30分、30分の間にどちらが多く点をとるかで勝敗が決まる。

ゲームの方法

（イ）図のように自分のボールをスティックで打ち、第1ゲート、第2ゲート、第3ゲートを矢印の方向より通過させ、最後にゴールボールに当てるとあがりになる。
得点は第1ゲート1点、第2ゲート1点、第3ゲート1点、ゴールボール2点、計5点、よって1選手の最高点は5点で、1チーム5選手の最高点は25点になる。

（ロ）打つ順番は、1番から10番まで順番に打っていき、30分経過したら試合終了です。
この時点で赤・白各チームが何点とったかで勝敗が決まる。

急いでも　きちんとみます　みぎひだり（子ども向け）

カメラレポート
10月～3月
（文化行事）

新春放談会
「一日移動市役所」大盛況のうちに終る

去る一月九日午後一時三十分より地区公民館に於いて寒梅香る中、各団体より百十数名の出席を得、又市長さんはじめ関係課長さん十二名の出席をいただき盛大に行なわれました。

各団体より負担金のご協力をいただきありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

第四回 平野地区生活文化展

去る二月十二日～十三日の二日間地区公民館で盛大に開催されました。地区内にある団体（婦人会・せせらぎ・盆栽花木愛好会川柳会・短歌会・他・・・）と一般からの大変いそがしい合間をぬって創意と工夫による作品を出品していただきました。

特に地元企業のご協力により実現しました地場産業コーナーは地区民の注目の的でありました。

それから平野小学校の四年生から六年生までの生徒にお願いして書いていただいた絵画九十八点は生徒一人一人の豊かな相像力をフルに発揮してすばらしい作品を出品していただき文化展をもりあげていただきました。みなさんのご協力に対して厚くお礼申し上げます。来年は反省点をふまえながらよりよい文化展にするため頑張っていきたいと思いますのでなお一層のご協力をお願いいたします。

婦人会作品

生　花

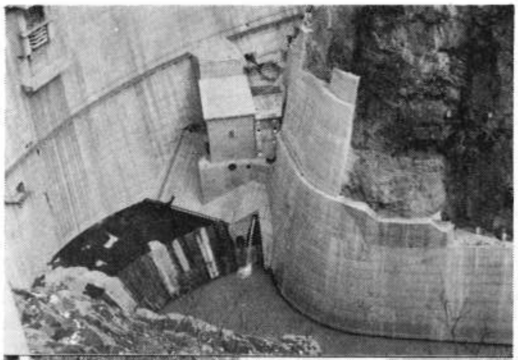
カメラレポート（10月〜3月）

12/12 第5回少年教室たこ作り

11/13 分館連秋期研修会（小関太郎氏を向えて）

12/28 生花教室

12/15 ダンスパーテー



3/6〜7 川治ダム視察（地開協）

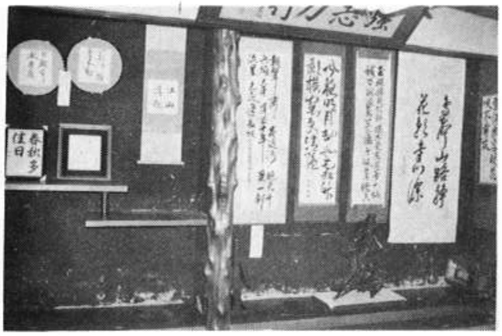
2/26 青年講座

3/16 野川学級閉級式　交通安全の話を聞く

シートベルトを着用し安全運転を心がけましょう

「平野の未来」の絵画

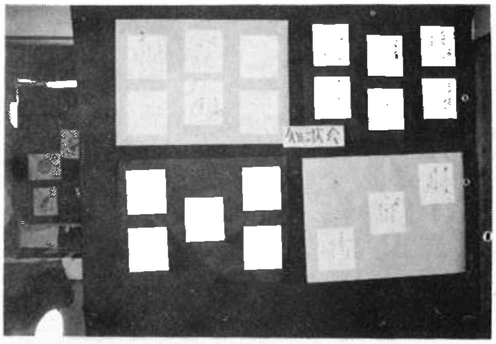
注目を集めた地場産業コーナー



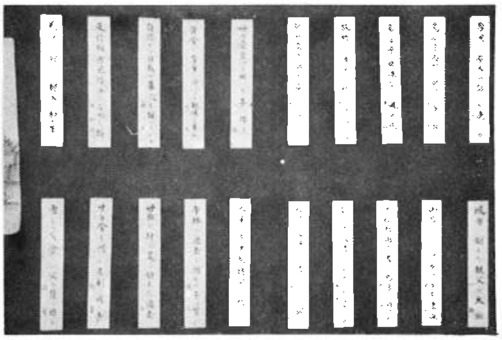
書

昔をしのぶ民具

さしことホーキづくりグループ作品



短歌会 作品



川柳会 作品

せせらぎ 作品

酒のみ運転は絶対しないようにしよう

テープ学習をしてみませんか

公民館では生涯教育を推進するため乳幼児から老人を対象にさまざまな事業を行なっています。その中で特に講演会・講座等においては貴重なお話の内容をテープに録音し保存しています。

そこで公民館では皆さんに学習していただくためにテープを貸し出しすることにいたしましたのでご利用下さい。

申込方法

○ 電話又は直接申込んで下さい（予約可）

○ 借用期間は一週間以内です。

○ 土曜日返す場合は午前中にお願いします。

なお、くわしいことは　八－二四四一へ

№	演　題	講　師
1	校長は馬にのって（地域づくりと未来について）	小関太郎
2	母と子のきずな	安達　清
3	楽しくそして社会に役立つ老後を送るために	島津泰雄
4	がまん強い子供に育てるためには	〃
5	平野地区のあゆみと今後の展望	梅津伊左ヱ門
6	平野の歴史	川村吉弥
7	薬草と生活	飯野正典（市立病院副院長）
8	家庭教育のあり方	打田早苗
9	私達のくらしと食料問題	大川健嗣
10	上手な話し方について	古池常泰（ＹＢＣアナ）
11	幸わせに生きていくためには（わたしのあゆんできた道をとおして）	藤原てい（作家）

「家庭の日」運動を地域ぐるみで推進しよう！

平野地区では昭和五十六年より「家庭の日推進モデル地区」の指定をうけ平野地区家庭の日推進運動協議会が運動を展開しております。特に今年度は協議会の中心メンバーである婦人会が部落ごとにお茶のみ会を実施しながら地域の問題や、課題解決のため又よりよい家庭を築くために頑張っています。

◎　家庭の日」運動はなぜはじめられたか

「家庭の日」運動は、月に一回「家庭の日」と定め、忙しい父親の場合でもせめてこの日だけは夕食を家族と共にしながら家族の話合いができるようにというねらいで昭和四十年の初め頃、秋田県や鹿児島県から始められた運動です。

青少年を健全に育成するために最も重要な基礎は家庭ですが、その頃は高度な経済成長に伴なって社会のしくみが激しく変り、経済優先と職業の多様化、価値観の混迷、進学競走等により家庭の姿が変り、子供にも大きく影響を与え青少年の犯罪や非行が急激に増加して戦後青少年の非行の増加が第２のピークと言われました。

家庭もめまぐるしく社会のいろいろな影響を受けて、家族が揃って話し合う機会さえ持てない状況がいたるところで問題となり、改めて子供を育てる基礎的な場である家庭のあり方についての反省が強まってきました。

家庭は本来「いこいの場」となり「教育の場」となり「明日の力を生み出すような場」としてその機能を充分に発揮するようになることが家庭の持つ役割です。

こうしたなかで、せめて月に一日は「家庭の日」と定め家族みんな揃って家庭のよさを味わう、とこんなねらいで始められたのですが、「家庭の日」を充実させることにより、家庭の持つ役割が見直され健全な家庭づくりをめざして毎日が「家庭の日」となることを願って、この運動がすすめられました。

平野地区親の会報告

佐藤昇一 会長

「親」自らの研修で子供の健全育成

=身体ごとぶつかる実践教育=

▼はじめに▲

校内・家庭内暴力、更に中学生による浮浪者殺傷事件、暴力をふるった生徒を先生が刃物で刺した事件・・・・・。

受験・卒業の時期には毎日のように新聞・テレビをにぎわせた。

大小は別に、県内・市内にもそのきざしがうかがえます。

このようななかで、「親」自身が研修を深め、意識を高めて明るい環境をつくり出していくことを目的に、中学校統合を期にして、中高生を持つ親の会を発展的に解消し、小学生を持つ親も含めた平野地区親の会を五十七年一月に発足した。

格好良いことだけをしようとするものではなく、私達「親」の立場で出来ることから、地味ちに行動し、粘り強く継続していきたいものです。

▼若干の経過▲

57年1月　・平野地区親の会発足・設立総会

57年3月　・ブロック別座談会

2月16日(火) 七・〇〇時〜
於・子坂公民館
小坂・東子坂
如来堂・木口　地区

2月17日(水) 七・〇〇時〜
於・桜町公民館
桜町・宮地・中里
浦原・北向　地区

2月19日(金) 七・〇〇時〜
2月22日(月) 七・〇〇時〜
於・平野地区公民館
館・伊勢堂・善並
岃柄・長渡・大久保　地区

2月24日(水) 七・〇〇時〜
於・谷地寺公民館
石塚・谷地寺
川窪　地区

2月26日(金) 七・〇〇時〜
於・八雲公民館
窪・大屋敷・館野　地区

※　親の会発足の内容説明・意見・要望等を中心に行いました。駐在所の秋葉さんにも応援をいただき、市内の実態について説明を受けました。

57年6月　・57年度総会

57年8月　・旧平中グランド清掃

58年3月　・課題別研修会

3月13日(日)
於・平野小学校
小中生を持つ親の研修
(分散会方式による討論)

3月15日(火)
於・地区公民館
高校生を持つ親の研修
(座談会方式による討論)

▼組　織▲

・小中高生の父母をもって組織する。
・事務所を平野地区公民館に置く。
・目的は、会員相互の連携を密にし、児童、生徒の健全育成を図る。
・役員は平野地区行政区（二十一地区）から、小中高ごとの代議員、代議員のなかから各地区ごとに一名の委員を選出する。
　委員の互選によって、三役を決定する。
・総会は、代議員会をもって充てる。事業、予算を審議する。
・経費は、会費及びその他の収入をもって充てる。

▼今年度の事業報告▲

(1)　旧平中グランド清掃

〝親子で気持ち良い汗を流そう〟をテーマに、旧平中グランドの清掃を行った。8月8日（月）、午前9時グランド集合、幸い天候に恵れ都合を繰りやって多くの会員（約三百人）が参加しました。

草刈機、軽トラック、…等を持ち寄り、小学生の低学年から高校生、そして親が集い、親と子、子供同志、親同志の語らいがありました。

グランドはみるみるきれいになり、文字どうり親子皆んなで、気持ち良い汗を流しました。

参加した人全員が、同じ目的・内容で一緒に身体を動かすことができたことは大きな成果でした。

(2)　課議別研修会

昨年度の地域別座談会に出された意見をもとに、課題別研修会を行いました。

(イ)　小中学生を持つ親の研修

テーマを「統中一年を振り返って」に置き、小中学生の学校・家庭での生活を語り合うという内容で、三月十三日（日）午後一時～四時三十分まで、三つの分散会方式をとり、平小を会場に行った。

基調講演、助言者として、南中から、校長、土屋、田中各先生、そして、平小の教頭先生に指導を願って行いました。

年度末で忙がしい時期でありましたが、会員約六十名（約半数）参加のもと、熱心に討論を行いました。

日常的に子供との会話が良く行われているか、地域の事業に子供が参加しているか、手伝いは良くしているか、……等実態のつき合せを行い、「親」の対応、役割について討論を深めました。

今後の課題として、私達は何をすべきかについて熱心に意見の交換を行いました。

★基調講演の内容
　　南中・樋口校長

掃除もきちっとできない、ゴミが落ちていても拾わない、あいさつができない等の厳しい指摘が出され、家庭・学校・地域での連携、そして小・中・高の一貫した教育の重要性が出されました。

あいにく、寒い一日であったが実のある研修会でした。

高校生を持つ親の研修会

(ロ)　高校生を持つ親の研修

三月十五日（火）午後七、〇〇時から、午後九時三十分まで、地区公民館において、米沢工業高校、長井工業高校の両校長、更に米沢工業高校の生活指導の先生を迎えて座談会方式で討論を行った。

参加者は約三十名（約三分の一）であったが、親子の断絶、会話不足、地域行事への不参加、非行問題について、具体的な話し合いを行いました。

基調講演のなかで、非行、暴力を語る前に、親・地域・学校で、身体ごとにぶかれる体験・実践教育が大切であるとの話が出されました。

▼ま　と　め▲

小中高生を持つ親の会としては二年を経過しただけです。

発足までは色々な議論もされましたし、問題点も指摘されました。

しかし活動をとおして、研修の積み重ね、親子で一緒に考え行動する、そして学校・家庭・地域で確実に皆んなで実践してつないで行くことが急務であることを、実感として知りました。

新生活運動について考えてみましょう

経済の高度成長は「消費は美徳」とか「新しいものはよりよい生活のパスポート」などの言葉がもてはやされ豊かな物にかこまれた時代をもたらしました。が近年世界的な不況により日常生活の見通しがさけばれております。

そんなことから昭和５６年度に市からの委託事業として新生活運動を推進するため新生活運動推進協議会が発足しました。当協議会では特に冠婚葬祭に重点をおきながら事業に取り組んできたわけですが、仲々難かしい問題をかゝえております。ともに考え、よりよい方向に進みたいものです。

○昭和５６年度事業内容

o 快気祝の返礼用ハガキの作成（右図）

この返礼用ハガキを利用されたい方は地区公民館へおいで下さい。

無料でおわけします。

現在までの利用者　　３６名

〃　　利用枚数 1,５０７枚

謹啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
このたび　　儀　　療養中には大変御心労を煩し重ねて御鄭重なる御見舞を頂戴致しお陰様にて健康を回復　家族一同喜んで居り厚く御礼申し上げます。
つきましては新生活運動の一環として地区挙げて快気祝の全廃を申し合せておりますので皆様の御厚情に深く感謝しつつ一家の明るさを取戻す事が何よりの返礼かと思います。
何卒右主旨御理解戴き失礼乍ら書面を以て御礼申し上げます。
敬具

昭和　　年　　月　　日

山形県長井市

○昭和５７年度事業内容

o 生活の簡素化のための申し合わせ事項作成（下図）

o 出産祝の返礼用ハガキ作成（右図）

この返礼用ハガキを利用されたい方は地区公民館へおいで下さい。無料でおわけします。

平野地区新生活運動申し合せ事項

記

一、結婚式　壱萬円
一、御産祝　弐阡円
一、御伺い　弐阡円
一、御悔み（香典）　壱阡円
一、葬式　参阡円

平野地区の皆さん勇気をもって自ら実行しましょう。

昭和五十八年三月

平野地区新生活運動推進協議会
婦人会　地区長会　分館連　青年団
平野地区公民館

謹啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます
このたび　　出産に際しましては結構なお祝を頂き誠に有り難うございました
お陰をもちまして産後の肥立ちもよく母子ともに健全に過ごしております
つきましては新生活運動の一環として地区挙げて出産祝の全廃を申し合わせておりますので皆様の御厚情に深く感謝し失礼乍ら書面を以て御礼申し上げます
敬具

年　　月　　日

山形県長井市